

■ 本マニュアルでは、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため次のような絵表示をしています。

| 絵表示 | 意味 |
|--|--|
|  注意 | 取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。 |
|  お願い | 「必ず行なっていたく事」を示しています。 |

-  **注意** 人身事故や重大事故を防止するため、下記の事項を必ず確認してください。
- ・悪天候の下や、足元が不安定な状態での取付作業は行わないでください。
 - ・取付作業は、作業現場周囲の安全を確保の上、本書に説明した取付方法に準拠して行ってください。
 - ・梱包箱に同梱されている 取扱いの手引き は、お施主様（本品をご使用される方）に確実にお渡し下さい。

■ 本製品の明細は以下の通りです。

シャッター本体、取扱いの手引き

■ その他の梱包

ガイドレール

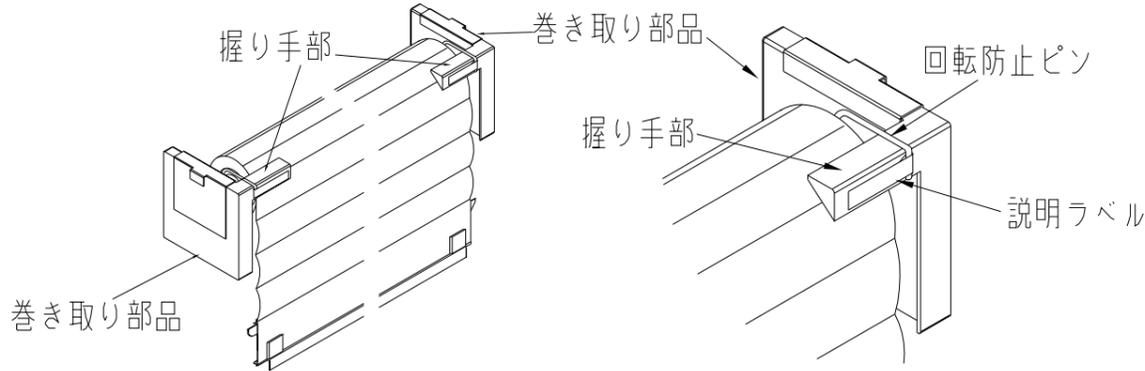
ボックスカバー

枠

障子

網戸

▲ シャッター本体取付時の取扱いについて
シャッター巻き取り部品の握り手部を持ち、開梱作業及び取付け作業を行います。
開梱作業及び取付け作業は、必ず2人以上で行ってください。



 **注意**

シャッター本体取付け時の回転防止の為、回転防止ピンが左右の巻き取り部品に付いています。取付けマニュアルの手順に従ってガイドレールの取付完了まで、この回転防止ピンを抜かないでください。

説明ラベルの内容

ガイドレール取付完了まで
このピンは抜かないで下さい

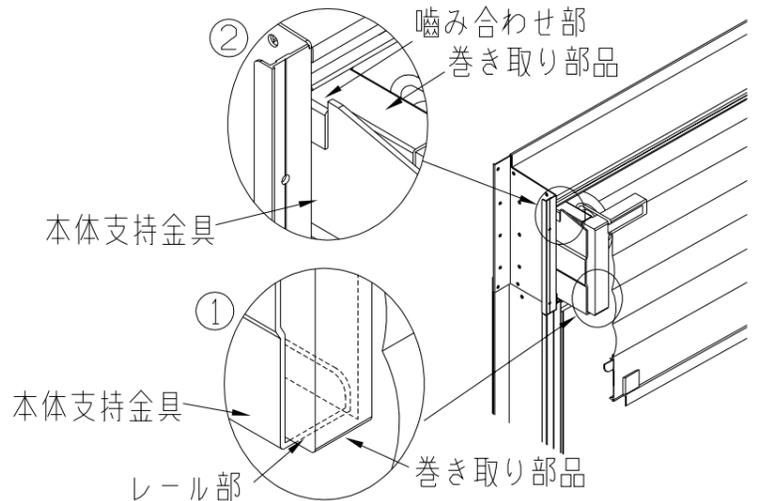
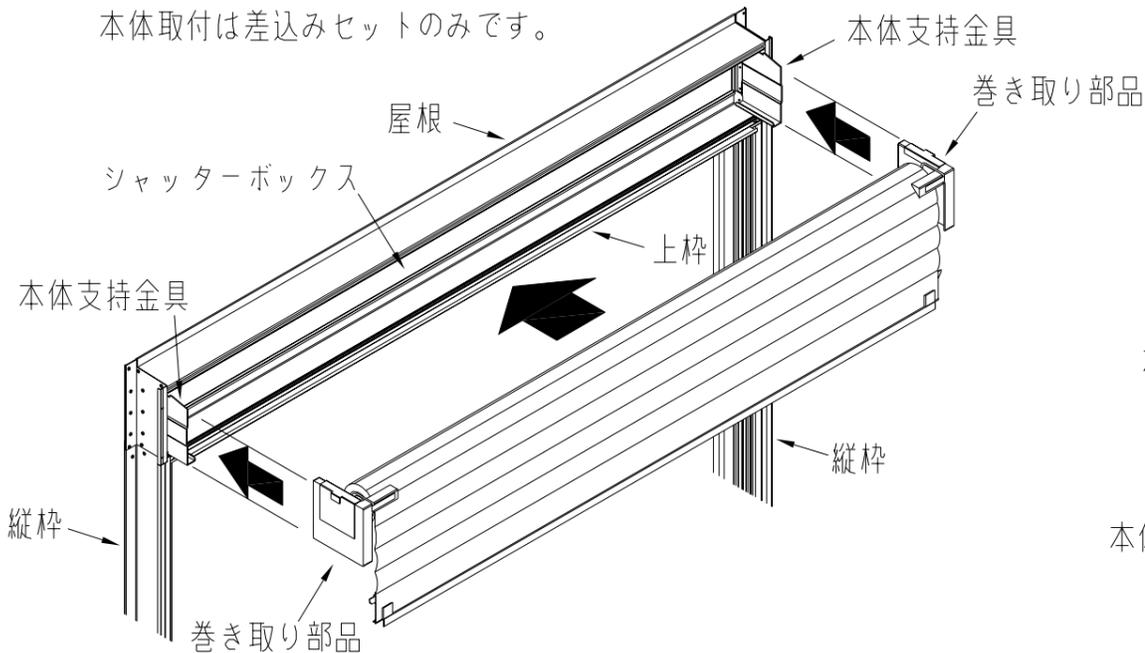
 **お願い**

本体取付け時に以下の確認を必ず行ってください。

- ① 本体支持金具の下端レール部に巻き取り部品が確実に差込まれていること。
- ② 本体支持金具の上端切り欠き部と巻き取り部品の金具上端突起部が噛み合っていること。

▲ シャッター本体の取付け

1. 下図の様に左・右の巻き取り部品を、それぞれ左・右の本体支持金具へ差込みます。
本体取付は差込みセットのみです。



2. シャッター本体取付け後に、ガイドレールの組立施工マニュアルに従ってガイドレールを取付けてください。

シェルムーン5型 ガイドレール 組立施工マニュアル マニュアル番号 MN-1286

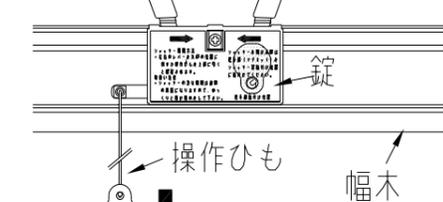
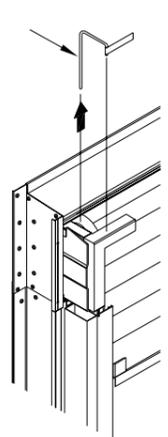
3. ガイドレール取付完了後、左・右の回転防止ピンを抜いて、シャッターの開閉確認を行ってください。

 **注意**

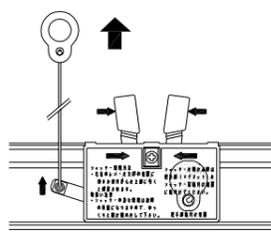
ガイドレールが付いていない状態のシャッター本体は不完全な状態です。回転防止ピンは必ずガイドレール取付後に抜いて下さい。不完全な状態で回転防止ピンを抜くと、シャッター内部のバネの力が開放される為、急激にシャッターが動き、思わぬ事故の原因になる恐れがあります。

回転防止ピン

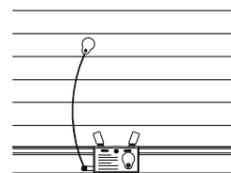
開閉方法



操作ひもを下部へ引くとシャッターが降りてきます。幅木が下まで降りてきたら、やや強めに降ろして下さい。自動的に施錠されます。

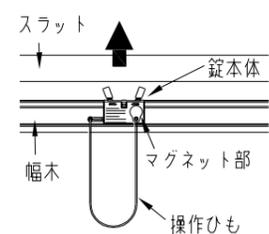


操作ひもを上部へ引くか、シャッター錠の左右のレバーを矢印の方向に作動して解錠されます。



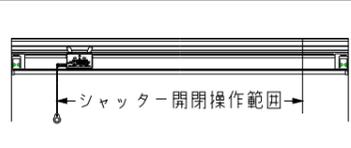
シャッターを閉じている時は、操作ひもを図の様にスラットに貼りつけておくと便利です。

シャッターを開ける時のお願い



操作ひものマグネット部をスラットに貼り付けたままシャッターを巻上げないでください。幅木に手が届かない場合などに、操作ひもを引いて下降させる（閉じる）ことが出来なくなります。シャッターを開ける（巻上げる）時は、操作ひものマグネット部を、錠本体に貼り付けてください。

シャッターの開閉は、幅木の錠付近より中央側を持ってゆっくりと行なってください。幅木の端部を持っての開閉は作動不良の原因になります。正しい使い方シャッターの開閉を行なってください。



4. シャッターの開閉確認後に、ボックスカバーの取付けマニュアルに従ってボックスカバーを取付けてください。

シェルムーン5型 ボックスカバー 取付けマニュアル マニュアル番号 MN-1288